

連立方程式の活用 (1)**連立方程式を使って問題を解く手順**

- ① 求める数量を明らかにして, どの数量を文字で表すかを決める。
(基本的に, 求める数量を文字で表すとよい。
ただし, 求める数量を文字にしないほうが計算しやすいこともある。)
- ② 等しい関係にある数量をみつけて連立方程式をつくる。
- ③ 連立方程式を解く。
- ④ 求めた解が問題に適しているかを確認する。

【1】ある水族館の入館料は, 大人2人と中学生3人では3100円, 大人1人と中学生4人では2800円である。大人1人と中学生1人の入館料を, それぞれ求めなさい。

答え

【2】2けたの整数がある。この整数の10の位の数と1の位の数の和は8になる。また, この数の10の位と1の位を入れかえてできる整数は, もとの整数よりも36大きくなる。もとの2けたの整数を求めなさい。

答え